

2013年6月11日
第一生命保険株式会社

大規模太陽光発電プロジェクトへの共同出資について

第一生命保険株式会社（代表取締役 渡邊光一郎）は、今年度より環境・インフラ関連案件を含めた成長分野への投資を強化していますが、今般、大和証券グループが以下の事業内容を目的として設立した合同会社への出資を通じ、大規模太陽光発電プロジェクトに取り組むことにつき、大和証券株式会社と基本合意を行いました。

<合同会社の概要>

事業内容	再生可能エネルギー全量買取制度の適用を受ける再生可能エネルギー電気の発電及び供給に係る業務を営む特定供給者
設置予定地	香川県観音寺市、愛知県（予定）
総投資額	合計 約9億円
発電予定容量	合計 約3MW（一般家庭約1,000軒分）
ソーラーパネル （太陽電池モジュール）	京セラ製を採用予定
稼動見込日	2013年12月（予定）

第一生命から合同会社に対しては、上記総投資額のうち最大50%に相当する金額の匿名組合出資を行う予定としており、本件は大規模太陽光発電プロジェクトに係るエクイティ投資の当社第一号案件となります。

当該合同会社は、第一生命と大和証券グループから出資を受け、香川県観音寺市に大規模太陽光発電所を設置する予定で、2013年中の稼動を目指しています。あわせて、愛知県に大規模太陽光発電所を設置することも検討しています。

第一生命は、2013年度から2015年度までの中期経営計画期間において、環境・インフラ関連分野、新興国、国内成長株など高い成長が見込まれる分野への投融資を積極的に実施することを予定しています。今回の出資もその一環の取組みであり、今後、この取組みを通じ、第一生命の企業価値向上を図るとともに、高い資金需要のある分野に長期資金を供給して日本・アジアの更なる経済成長に貢献していきます。